

研究課題名	緑内障性視野進行予測モデルの構築
研究責任者名	医系科学研究科 視覚病態学 教授 氏名 木内 良明
研究期間	2018年12月18日(倫理委員会承認後)～ 2024年3月31日
対象者	2009年1月～2018年12月の間に、広島大学病院眼科ですべての種類の緑内障患者と正常眼を有する患者のうち、眼底写真と緑内障 OCT 検査が半年以内に施行されている患者です。
意義・目的	緑内障患者さんの眼圧値・病型・年齢・屈折値・光干渉断層計による網膜神経線維層厚、角膜計測パラメーター、眼底写真から緑内障の診断、進行の予測因子などを研究し、実臨床で緑内障の早期発見・早期治療、そして緑内障治療の発展に役立たせます。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は緑内障患者の眼圧値・病型・年齢・屈折値・光干渉断層計による網膜神経線維層厚、角膜計測パラメーター、眼底写真です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	<p>東京大学医学部附属病院眼科、山梨大学医学部附属病院眼科、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院感覚器センター眼科、山口大学医学部附属病院眼科、大阪大学医学部附属病院眼科、京都府立医科大学医学部附属病院眼科、島根大学医学部眼科、愛媛大学医学部附属病院眼科、大阪大学医学部附属病院眼科、北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻、北里大学医学部眼科、広島大学病院眼科、ツカサキ病院眼科、井上眼科病院、たじみ岩瀬眼科、御池眼科池田クリニック、広島記念病院、慶應義塾大学眼科学教室、松江赤十字病院、市立札幌病院、京都大学医学部附属病院眼科、聖隷浜松病院、東京大学生産技術研究所(合原研)、東京大学大学院情報理工学系研究科、株式会社 queue、National University Health System、Hamilton Glaucoma Center and Department of Ophthalmology University of California San Diego、英国 Moorfields Eye Hospital、The University of Tennessee Health Science Center、The Optological Laboratory in the Department of Optometry and Vision Sciences、The University of Melbourne（Senior lecturer Andrew Anderson）、英国 Moorfields Eye Hospital、Department of Optometry and Visual Science、City University London、Faculty of Health Sciences、Universitas Islam Negeri Alauddin Makassar Indonesia。</p> <p>情報を東京大学（研究担当者 杉本宏一郎、広島大学（研究担当者 徳毛花菜）が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	東京大学医学部眼科学教室 教授 杉本 宏一郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5247

広島大学 病院 眼科 職名 医科診療医 徳毛 花菜